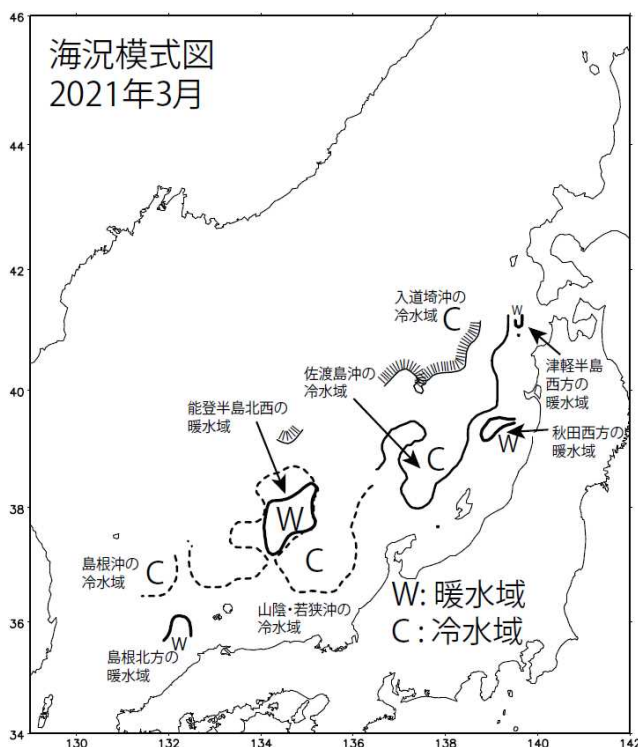


2021年度 第1回 日本海海況予報

ー 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
 水産資源研究所がとりまとめた結果 ー

今後の見通し(2021年4月中旬~6月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は日本海西部及び北部ともに“かなり高め”で経過する。



2021年4月中旬~6月の海況

- 島根北方の暖水域は北東に進み隠岐諸島北方に分布
- 能登半島北西の暖水域は北進し能登半島はるか北北西に分布
- 秋田西方の暖水域は北進し津軽海峡から流失
- 津軽半島西方の暖水域は東進し津軽海峡から流失
- 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況はやや離岸
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模接岸状況ともに平常並み
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸
- 入道崎沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
 担当：企画調整部門（横浜） 森永
 海洋環境部（新潟） 渡邊、井桁
 電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950
 当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2021年度 第1回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2021年4月中旬～6月）

- (1) 島根北方の暖水域は北東に進み隠岐諸島北方に分布する。能登半島北西の暖水域は北進し能登半島はるか北北西に分布する。秋田西方の暖水域は北進し津軽海峡から流失する。津軽半島西方の暖水域は東進し津軽海峡から流失する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況はやや離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模接岸状況ともに平年並みで経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに“かなり高め”で経過する。

2. 経過（2020年11月～2021年2月）

- (1) 11月に能登半島北西で見られた暖水域は2月まで定在。11月に男鹿半島沿岸～西方で見られた暖水域は、12月に津軽海峡から流失。11月に山形～秋田沿岸に出現した暖水域は、12月には欠測により確認出来ないが、2月には男鹿半島北西に分布。12月に能登半島東岸に出現した暖水域は北東に進み、2月には佐渡島北方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、11月はかなり小さくはなはだ離岸、12月はやや小さくはなはだ離岸、2月は欠測により不明。山陰・若狭沖の冷水域は、11月はやや小さくはなはだ離岸、12月はやや小さくやや離岸、2月は規模、接岸距離とも平年並。佐渡島沖の冷水域は、11月はやや小さくやや離岸、12月はやや小さく接岸距離は平年並み、2月はやや小さくやや離岸。入道埼沖の冷水域は、11月はかなり小さくかなり離岸、12月は欠測により不明、2月はやや小さく接岸状況は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、11月は、但馬北方～若狭北方～能登半島西方、上越～佐渡島、男鹿半島西方で“かなり高め”、佐渡島北東で“かなり高め”～“はなはだ高め”、隠岐諸島北方で“やや低め”～“かなり低め”。12月は、山口北方、隠岐諸島はるか北方、北海道道西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、津軽半島西方で“かなり高め”。2月は、山口北方、隠岐諸島西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、能登半島北西で“かなり低め”～“はなはだ低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“はなはだ高め”、北部では“かなり高め”。

3. 現況（2021年3月）

- (1) 暖水域は、島根北方、能登半島北西、秋田西方、津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、かなり小さくはなはだ離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、規模、接岸距離とも平年並。佐渡沖の冷水域は、やや小さくはやや離岸。入道埼沖の冷水域は、やや小さくかなり離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、島根～但馬沿岸、隠岐諸島北方、佐渡島北方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、若狭湾北方、能登半島西方、能登半島東岸で“かなり高め”、能登半島はるか西方で“かなり低め”～“はなはだ低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“かなり高め”、北部では“やや高め”。

(註) 引用符（ ” ” ）で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| ” はなはだ高め（低め） ” | : 22年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ（低さ） |
| ” かなり高め（低め） ” | : 7年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ（低さ） |
| ” やや高め（低め） ” | : 3年に1回の出現確率である1℃程度の高さ（低さ） |
| ” 平年並み ” | : 2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産研究所	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター
	(取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所